



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301 URL <http://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松原 和彦 TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	49,184	9.6	4,228	—	4,924	—	5,854	—
28年12月期第2四半期	44,872	△16.9	△80	—	△235	—	△5,900	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 7,299百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △15,701百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	27.47	—
28年12月期第2四半期	△27.68	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	158,903	118,561	73.9
28年12月期	158,824	112,989	69.9

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 117,458百万円 28年12月期 110,990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年12月期	—	6.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	10.6	8,500	651.1	9,700	469.8	9,100	—	42.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(直近の業績予想および配当予想として、2017年7月31日に「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	224,943,104株	28年12月期	224,943,104株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	11,784,572株	28年12月期	11,782,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	213,159,519株	28年12月期2Q	213,182,637株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年8月9日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）における世界経済は、欧米を中心に全般的に緩やかな持ち直し基調が継続しました。しかしながら、米国の政策運営、中国経済の動向、朝鮮半島の政治情勢、英国EU離脱に係る諸問題等、世界経済をとりまく不確実性は高く、今後の動向を注視していく必要があります。

このような情勢下、3ヵ年中期経営計画T-2018の2年目にあたる当期は、昨年取り組んだ「構造改革」の成果を活かし、2018年（平成30年）の業績目標の売上高1,100億円、営業利益90億円、ROS（売上高営業利益率）8%以上、ROIC（投下資本利益率）6%以上の達成に向け、成長戦略に軸足を移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.6%増の491億8千4百万円、営業利益は42億2千8百万円（前年同期は8千万円の営業損失）、経常利益は49億2千4百万円（前年同期は2億3千5百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億5千4百万円となりました（前年同期は59億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## [カーボンブラック事業部門]

対面業界であるタイヤ業界、自動車業界ともに堅調に推移し、当社のカーボンブラック事業は前年同期比で販売量増加となりました。また原料油価格上昇に伴う製品の値上げ実施及び昨年の構造改革の効果現出なども寄与し前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比28.5%増の235億4百万円、営業利益は前年同期比79.5%増の33億9千7百万円となりました。

## [黒鉛電極事業部門]

黒鉛電極事業は構造的な需給不均衡により、前年同期比で販売価格が下落し売上高は減少しました。一方で販売数量自体は堅調に推移し、コスト削減効果が現出したことなどから前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比10.9%減の96億5千7百万円、営業利益は2千5百万円となりました（前年同期は3億7千万円の営業損失）。

## [ファインカーボン事業部門]

特殊炭素用黒鉛材の供給能力は依然として需要を上回っているものの、一般産業用市場が堅調に推移するなか、太陽電池、半導体市場も回復傾向となっており、市場価格には底打ち感が見られます。また構造改革の一環として昨年実施した生産能力削減、在庫削減等の合理化効果が現出しつつあります。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比1.1%増の68億4千5百万円、営業利益は3億9千万円（前年同期は12億5千4百万円の営業損失）となりました。

## [工業炉及び関連製品事業部門]

発熱体その他製品は電子部品業界向けに堅調に推移したものの、工業炉はエネルギー関連業界向けで販売減少となりました。営業利益は、工業炉の特需並びに発熱体製品における中国の子会社の収益改善等が寄与し前年同期比増加しました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比4.5%減の28億2千2百万円、営業利益は前年同期比34.5%増の5億1千2百万円となりました。

## [その他事業部門]

## 摩擦材

摩擦材の売上高は、建設機械向けは油圧ショベルの中国市場回復、鉱山機械の増産等により伸長しました。農業機械向けは北米向けトラクターの増産、工作機械向け需要は中国の自動化需要拡大により、いずれも伸長しました。この結果、摩擦材の売上高は前年同期比10.1%増の41億4千6百万円となりました。

## 負極材

リチウムイオン二次電池用負極材の売上高は、販売数量が客先の生産調整により減少した結果、前年同期比3.6%減の20億8千2百万円となりました。

## その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比44.6%増の1億2千5百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比5.7%増の63億5千4百万円となり、営業利益は前年同期比51.9%増の4億5千1百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,528	21,330
受取手形及び売掛金	24,220	25,307
有価証券	12,000	4,500
商品及び製品	7,516	6,956
仕掛品	7,886	8,184
原材料及び貯蔵品	5,330	7,527
繰延税金資産	1,677	1,360
その他	3,066	2,751
貸倒引当金	△580	△530
流動資産合計	77,645	77,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,965	12,545
機械装置及び運搬具（純額）	20,496	19,489
炉（純額）	744	779
土地	5,747	5,722
建設仮勘定	1,214	1,693
その他（純額）	1,953	2,023
有形固定資産合計	43,122	42,254
無形固定資産		
ソフトウェア	559	518
のれん	5,604	5,397
顧客関連資産	3,612	3,478
その他	758	702
無形固定資産合計	10,534	10,097
投資その他の資産		
投資有価証券	24,377	26,124
退職給付に係る資産	1,923	1,891
繰延税金資産	564	365
その他	702	850
貸倒引当金	△46	△67
投資その他の資産合計	27,521	29,165
固定資産合計	81,178	81,516
資産合計	158,824	158,903

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,471	8,338
電子記録債務	2,120	2,400
短期借入金	2,894	3,193
1年内返済予定の長期借入金	10,016	3,716
未払法人税等	841	540
未払消費税等	356	—
未払費用	1,235	1,325
賞与引当金	194	271
その他	3,897	3,991
流動負債合計	29,028	23,778
固定負債		
長期借入金	4,137	3,104
繰延税金負債	6,037	6,611
退職給付に係る負債	3,840	3,950
役員退職慰労引当金	92	78
執行役員等退職慰労引当金	42	30
環境安全対策引当金	473	484
その他	2,182	2,304
固定負債合計	16,806	16,563
負債合計	45,834	40,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,502	17,458
利益剰余金	69,005	74,220
自己株式	△7,250	△7,251
株主資本合計	99,693	104,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,191	10,220
為替換算調整勘定	1,356	1,654
退職給付に係る調整累計額	748	720
その他の包括利益累計額合計	11,296	12,595
非支配株主持分	1,998	1,103
純資産合計	112,989	118,561
負債純資産合計	158,824	158,903

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	44,872	49,184
売上原価	36,762	37,551
売上総利益	8,110	11,633
販売費及び一般管理費	8,191	7,405
営業利益又は営業損失(△)	△80	4,228
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	246	245
受取賃貸料	152	72
持分法による投資利益	435	544
その他	234	470
営業外収益合計	1,098	1,349
営業外費用		
支払利息	234	175
為替差損	724	162
その他	294	315
営業外費用合計	1,253	652
経常利益又は経常損失(△)	△235	4,924
特別利益		
固定資産売却益	1,380	2,476
関係会社清算益	—	408
投資有価証券売却益	—	58
特別利益合計	1,380	2,943
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	96
減損損失	6,487	—
特別損失合計	6,487	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,342	7,772
法人税、住民税及び事業税	1,024	1,089
法人税等調整額	△462	689
法人税等合計	562	1,779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,905	5,993
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	138
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,900	5,854

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△5,905	5,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,998	1,029
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△4,934	267
退職給付に係る調整額	△16	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△847	38
その他の包括利益合計	△9,796	1,306
四半期包括利益	△15,701	7,299
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,469	7,153
非支配株主に係る四半期包括利益	△232	145



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	黒鉛電極 事業	ファイン カーボン 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,297	10,833	6,770	2,956	38,858	6,014	44,872	—	44,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	0	50	114	205	—	205	△205	—
計	18,338	10,833	6,821	3,070	39,063	6,014	45,077	△205	44,872
セグメント利益又は損失 (△)	1,892	△370	△1,254	381	649	297	946	△1,027	△80

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,027百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,030百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等でありませ。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、平成28年を初年度とする3ヵ年中期経営計画「T-2018」の策定とこれに伴う経営管理方針の変更により、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「炭素・セラミックス事業」として開示していた報告セグメントを「黒鉛電極事業」と「ファインカーボン事業」へ変更しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、当社の一般管理費の一部について費用の配分方法を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カーボンブラック事業」セグメントにおいて、収益性が低下したカーボンブラック製造設備及び生産設備の1系列閉鎖が決定されたことにより将来使用する見込みがなくなった遊休資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,259百万円であります。

「ファインカーボン事業」セグメントにおいて、収益性が低下したファインカーボン製造設備及び経営合理化策により決定された旧式設備の廃棄、休止等により将来使用する見込みがなくなった遊休資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,228百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	黒鉛電極 事業	ファイン カーボン 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,504	9,657	6,845	2,822	42,830	6,354	49,184	—	49,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	8	76	96	213	—	213	△213	—
計	23,536	9,666	6,921	2,918	43,043	6,354	49,398	△213	49,184
セグメント利益	3,397	25	390	512	4,325	451	4,777	△548	4,228

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△548百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△521百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。